

令和3年度 新潟県公立大学法人評価委員会 第1回県立大学部会  
～議事概要～

- 1 日 時 令和3年7月14日(水) 14時～16時
- 2 会 場 新潟県庁行政庁舎 17階 0A ルーム (Web 会議)
- 3 出席者  
(委員) 古城部会長、乾委員、神代委員、城山委員、吉澤委員  
(県立大学) 福嶋副理事長、田邊副学長、水沢事務局長 ほか  
(設立団体・事務局) 前田大学・私学振興課長 ほか

4 次 第

- (1) 開会
- (2) 議事  
ア 役員報酬等支給基準の変更について  
イ 令和2年度業務実績報告について  
ウ 令和2年度業務実績に関する評価について ※以降、非公開  
エ 第2期中期目標期間業務実績報告について
- (3) 事務連絡
- (4) 閉会

5 議事概要

(1) 開会・定足数の確認

[事務局]

委員全員が出席しており、本会が成立していることを報告

**部会長挨拶**

本日の議事は4件。

はじめに、役員報酬等支給基準の変更について審議を行う。次に県立大学の昨年度の業務実績について質疑等を行い、それを踏まえて、業務実績に関する評価を審議し、その後、第2期中期目標期間の業務実績報告を受ける予定。

具体的には、各委員から事前評価をもらう中で、様々な質問が出ていたので、まずは、その点について大学に最終確認を行う。その後、主に評価区分で意見の異なる点を中心に、小項目、大項目の順に審議し、併せて、評価書に記載する、主な成果や課題等についても議論し、評価書の原案をとりまとめていきたい。

(2) 議事ア 役員報酬等支給基準の変更について

〔事務局〕

資料1に基づき説明

⇒ 意見なしの議決

(3) 議事イ 令和2年度業務実績報告について

〔県立大学〕

資料に基づき説明

<法人自己評価について>

〔吉澤委員〕

計画に対してプロセス面での自己評価が非常に多いと感じた。予定していたプロセスどおりにいかなかったときに、違うプロセスでやったことで、高く自己評価をしたということについては一つの考え方なのだろうということに理解した。

ただし、「プロセスをやって結果としてどうだったのか。その結果が計画したものを上回ったのか。そうではなかったのか。」これが次の評価につなげていくべきだと思うので、「できなかったから、違うことをやったからよかった。」という自己評価のやり方は私の考え方と違うところがあったので計画に対しての具体的な成果について質問させてもらった。

〔県立大学〕

通例であれば、アウトカムで評価すべきであるということは理解しているが、教育については、アウトカムが出るまで何年もかかるため、アウトカム評価を毎年行うことができない場合も多い。そういうこともありプロセスに係る評価が多くなっており、特に今回のようなコロナ禍においては、ある程度、仕方がない部分があるものと考えている。ご指摘のアウトカムの評価が重要であるということは、十分理解している。

〔城山委員〕

新型コロナウイルス感染症で、当初予定していたことができなくなったため、努力したことをきちんと自己評価するのはいいが、何かをやればすぐそれをプラスに評価するというのは若干丁寧なやり方とはいえない。やったことをポジティブに受け止められたとか、評価するべき基準を提示してやるのが大事なのかと思う。

例えば授業満足度アンケートをやったから意味があるのではなくて、前期は35パーセントだった満足度が後期は89パーセントに上がりましたというなら、これはまさにアウトカムだと思う。教育の成果は長期的なアウトカムではないけれ

ども、少なくとも学生は極めてポジティブに評価してくれたということなので、そういうことがあれば意味があったと分かる。当初の資料にはそのような記載がなく、質問した後に出てきたところがあり、数字が万能ではないが、記載できるものがあれば最初から記載しておいたほうが評価しやすかった。

[県立大学]

次年度以降、そのように対応したい。

#### <事業評価 No. 4 「オープンキャンパス等を実施し、優秀な学生を確保する」>

[乾委員]

オープンキャンパスの件で、例えば学生に対してアンケートを行い、オンライン型でも訪問型と同じくらい満足が得られたといった評価はしているのか。

例えば他大学の例だと、オンライン型にしているが、訪問型と比べると満足度が低いような感想を述べている学生が多かったため、県立大学ではオンライン型でもうまく対応したと評価できるものなのかどうか、説明してほしい。

[県立大学]

手元に数字はないが、アンケートは行っている。確かに、対面型で大学へ行きたかったという声は多い。ただ、オンラインでの実施においても、大学の様子がよく分かったといった声や、学生と直接対話できるようなブースも設けていたので、大学の話を聞けたという声も上がっていた。満足度が普段より高かったかどうかというところまでは定量的には評価していないが、やらないでいるよりはオンライン型でもやったことによって、ある程度、満足した学生は多かったと思う。当然だが、やはり大学へ行きたかったという声は多くある。

[乾委員]

それであれば、対応したからよかったというよりも、やはり今回は新型コロナウイルス感染症の影響で当初の目的が達成できなかったということで、b評価でも理解が得られるのではないかと思う。何かしら対処したから a 評価というのは疑問に思う。このような状況で、完璧に対応するのは不可能だということを、むしろ書いた方が自己評価としてはいいのではないかと考える。

[県立大学]

オンライン型のオープンキャンパスは本来であればやる必要がなく、通常のオープンキャンパスでよいところを、オンライン型のオープンキャンパスでやったということは、通常のことを上回ることをやったことになる。対面型のオープンキャンパスにプラスしてオンライン型であれば一番いいのだが、今回は対面型がコロナの影響によりできなかったものである。今後、対面型のオープンキャンパスができるようになったときに、対面型だけでオンライン型ができないということであれば、

昨年度のオンライン型は代替措置であったということになるかと思う。ただ、そうではなく、今回は、業者を入れずにすべて本学の教職員が作った。そのノウハウを今後の方策、例えば、高校生への広報活動にも活かせるような能力が身に付いたと思う。本来やる必要のなかったものをやり、かつ相当数のオンデマンド視聴者数を得ているので、積極的に自己評価していいのではないかと思っている。

〔吉澤委員〕

私も乾委員が言われたとおり、計画どおりの実施ができなかったことは、そこで評価すべきだと思う。しかし、法人の実績報告・自己評価欄を見ると、できなかったことについて記載せず、代わりにこういうことを行った、こういう工夫をしたからa評価であると自己評価していて、途中で評価の基準を変えてしまったというか、ルールが変わってしまった印象がある。ここでうまくできなかったことを評価した上で、代わりにこのようなことを行い、これは今後のオープンキャンパスに有効に機能するからa評価であるというような説明の仕方をしてほしい。ほかのところも、特に計画の段階と結果では、新型コロナウイルス感染症の影響で状況が大きく変わったことは皆さんご存じのとおりなので、計画に対しての評価と、実績についての評価はきちんと分けたほうが良いと思う。

〔県立大学〕

ありがとうございます。ただ、計画どおりできなくなったことは皆さんご存じだと思うのだが、ルールを変えたのは大学ではないということも、理解してもらいたい。

〔吉澤委員〕

計画に対してはこのように自己評価するが、だから代わりに実施したことについてはこのような自己評価であると分けたほうが良い。計画どおりできなかったことを、「皆さんご存じのとおり」では評価にならない。

## <研究について>

〔古城部会長〕

教員が新型コロナウイルス感染症対策の授業準備等に追われ、研究の業績を出すことが難しかったとのことだが、それは非常によく分かる。私自身もオンラインに切り替わり多くの負担があった。県立大学の場合、大学規模を考えると教員の方への負担がかかりやすい構造となっていると考えているか伺いたい。

〔県立大学〕

ほとんどの教員がオンラインでの授業、あるいはオンライン授業のマネジメントシステムを使ったことがない中、4月にZoomを使うと決め、3月頃から準備を進

めたが、ライセンスを取得して全教員が使えるようになったのは授業の何週間か前であった。しかもオンラインの場合、動画は著作権の関係で使えず、書籍等が使えるようになったのも授業の数週間前のため、授業の資料そのものを作り直した教員も多かった。90分授業のオンデマンド動画を作るのに3、4時間かかってしまっているが、本学では、そういったことをサポートするシステムや部署がないため、すべて教員が自分一人で手探りでやらなくてはいけなかったため、かなり負担がかかったと思う。ただ、作成方法を共有する掲示板を作ったので、それはかなり参考になっていた。

これは研究にも言えることで、本学は研究支援に関する部署がないため、教員に負担がかかるような構造になっているのではないかと思う。

- (4) 議事ウ 令和2年度業務実績に関する評価について ※以降、非公開で開催
  
- (5) 議事エ 第2期中期目標期間業務実績報告について